

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成24年2月15日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4676500087
法人名	医療法人 たからべ
事業所名	グループホーム たからべ
所在地	鹿児島県曾於市財部町下財部1318番地9 (電話) 0986-72-1677
自己評価作成日	平成24年1月23日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://kaken-shakyo.jp/kohyo
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま 福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	平成24年2月7日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

- ①開設7年目に入り利用者の方も重度化して医療の必要性も増してきている中、母体が医療法人であるため医療との連携がうまく取れている。
- ②スタッフ全員が正職員で、離職者が非常に少なく入居者とのなじみの関係が良好に保たれている。
- ③職員の資格取得に対して協力的に推進している。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- ・ホームは、街の中心地で住宅地の中にあり、利便性の良い環境である。母体は、医療法人であり、定期的な往診や緊急時の対応などバックアップ体制や連携が取れており、利用者や家族にとって安心できる状況にある。
- ・全員正職員で、ほとんど有資格者であり、職員の勤務年数も長く、利用者とは安定した馴染みの関係が築かれている。
- ・開設当時の利用者が多く、高齢化してきているが、地域で暮らす馴染みの人や行きつけの理美容院などとの関係を継続できるよう支援している。
- ・ホームは明るく、共有の生活空間は広く温かで家庭的雰囲気を有している。職員は利用者それぞれの思いや意向を受け止め、一日の流れの中で生活を支援している。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	月に一回のミーティングにおいての確認。朝の申し送り前に唱和するようにして意識を喚起するようにしている。	理念は職員全員で検討し作成したものである。地域での生活の継続、交流の重要性、職員と入居者家族の信頼関係の大切さが理念となっている。朝の申し送り前に唱和したり、会議の中でも具体的に話し合い、理念にそったサービスの提供を心がけている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一人員として日常的に交流している	開設以来時間の経過と共に入居者様の認知レベル、ADLも低下し出かけることがなかなか難しくなっている。	地域で行われる草取りに参加したり、近隣の集落にホームだよりを配布したりして交流を心がけている。また、中学生やボランティア・地域の寺からの訪問等があり、地域との交流が行われている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	ボランティアや見学の申し出があれば受けるようにしている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	最近、新メンバー（近隣住民、民生委員）に加わってもらい、グループホームの意義や日々の生活状況をお話ししたり、質問等を受けたりしている。	会議は定期的開催され、外部評価や事業所の状況を報告し情報交換の場となっている。参加者からは、ホームの運営に理解と協力が得られている。会議の内容はミーティングで職員に報告して、サービスの向上に活かしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。</p>	<p>市役所主催の「グループホーム・小規模多機能の会」が二ヶ月に1回開催されるが、メンバーとして毎回参加している。運営推進会議に参加してもらい実情を伝えている。</p>	<p>市担当窓口に訪問し、相談や指導を受けたり、互いの情報交換を行っている。市職員が運営推進会議に参加したり、市主催の会合に出席して協力関係が築かれている。</p>	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>身体拘束廃止委員会で話し合いをしている。</p>	<p>マニュアルを基本に、身体拘束廃止委員会を設置している。年4回研修会や勉強会を実施し、職員の共通認識の増進を図っている。昼間の玄関の施錠はしていない。</p>	
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>ホーム内の虐待防止委員会で話し合いをし虐待行為に対する理解を深めるよう努力している。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>今まで必要に迫れることが無かった為、理解は浅い。今回成年後見制度の利用を考えたらどうかと思われる方がいらっしゃる為、アドバイスできるよう知識を学習したい。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>契約時には二人以上の職員により、説明漏れ等が無いよう、また疑問点の質問など、しやすい雰囲気作りに努めている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>家族の方が面会や入金等で来所されたとき、ストレートにあるいはそれとなく要望・意見等を聞き出し、皆で情報を共有できるよう努めている。</p>	<p>日頃から気軽に何でも言ってもらえる雰囲気づくりに留意している。面会時に、要望や意見を聴取している。把握した意見や要望等は、ミーティングで話し合い、すみやかに反映させている。</p>	
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>管理者が日勤体制で常時ホームにいたので、何かあればその都度上げてもらう。すぐにできるものであれば、即実行している。</p>	<p>日常的に管理者に意見を提案し、直ぐできるものであれば、運営に反映させている。また、必要があれば、職員会議で検討し、職員の不安や疑問を解消するように努めている。また、管理者は、職員が意見を出しやすくして、前向きに検討するように努めている。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>法人であるため給与水準、労働時間は変更できないが、日々の勤務に関しては柔軟に対応している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>外部からの研修案内に対しては、テーマ毎の希望、あるいは順番に均等に研修に参加できるように配慮している。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>前述の「グループホーム・小規模多機能の会」あるいは市全体での研修会で情報交換したりしている。相互訪問は最近行っていない。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居に至るまでの情報をもとに、本人の不安を軽減できるように語りかけて安心して過ごせるように努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	家族からの話を十分に聞き不安な点や心配事は納得できるように十分な説明を行っている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	何を必要としているか見極め必要なサービスの提供を行えるように努めている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	居場所や役割の提供を行い、作業や会話を通じて喜怒哀楽を共有している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	家族への連絡、報告の際に一方的にならないよう時季の話題、最近の本人の状況等を交え、さりげない形でケアのヒントを学んだりストレートに意見をもったりしている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	入居生活が長期になればなかなか難しい面があるが、本人の意向に添えるよう職員または家族にお話して協力をもらえるようにしている。	地域の馴染みの人や行きつけの理美容院などとの関係を継続できるように支援している。家族の協力を得て、墓参りや買い物・娯楽施設などへ行ったりして関係継続の支援をしている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	長年かけて築き上げた強烈な個性を遺憾なく発揮される方もいらっしゃることで、トラブルになることもあるのでそれぞれの場面での、物理的位置関係、コミュニケーション等、職員が調整役として心がけている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退所された方は、系列の病院に入院された方が殆どで、折に触れ面会し、近況を伺っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	本人の意向、食べたい物などないか意向に添えるよう、日常生活の中で関心をもつよう努め又困難な方も生活歴や家族からの情報をもとに対応している。	利用開始時に本人や家族の思いや意向を聞き、また、日常生活の中で意見や意向を把握している。また、困難な場合は表情やそぶりから、思いや意向を家族に相談しながら、把握するように努めている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居時に、本人や家族から生活歴を聞いたり、以前のケアマネあるいは本人に関わってくださった方々から情報を得たりしている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	ここでの一日の流れは決まっているので、食事時間などそれぞれのペースで生活できるよう体調の変化など毎日のバイタルチェックや申し送り等で把握している。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	本人家族の意向は日常生活、会話を通じて介護計画に反映出来るよう努め、また一定期間ごとにモニタリングを行い、期間中に状態の変化があれば、申し送り、ミーティングを通してそれに即した変更修正を行っている。	本人や家族・必要な関係者と話し合い、介護計画を作成している。6ヶ月毎にモニタリングを実施し、見直しを行っている。職員全体でカンファレンスを行い情報を共有している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>個別の用紙に毎日の記録を記入し、身体状況の変化に注意しつつ、観察を行い申し送りで情報の共有に努めている。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>医療連携体制が取れており、本人の健康状態を把握している。本人家族よりの要望があれば、出来る範囲で柔軟な対応をしている。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>地域のお寺さんの積極的な協力があり、月に一回法話やお経を聞き穏やかな時間を過ごしている。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>定期的なかかりつけ医の受診を行い、何かあれば時間外でも病院と連絡を取ることが出来る。</p>	<p>かかりつけ医は、本人や家族の希望を大切にして決めている。かかりつけ医に定期的に受診し、夜間の受診も可能である。また、専門医受診も連携を取りながら行い、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>かかりつけ医に定期的な受診を行い、また何かあればすぐ相談できる体制である。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院の際は面会に行き、病院の職員との情報交換ができています。病院の関係者との関係作りもできています。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>早い段階より家族の意見を伺い気持ちを尊重し、ホームでできることを説明し方針を共有している。</p>	<p>重度化した場合や終末期のあり方について明文化して、入所時に事業所として対応方針を家族に説明し同意書をもっている。職員全員がその方針を共有している。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>以前ほどの緊張感がなくなったので、ミーティング等で取り上げ繰り返しの訓練を心がける。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	ホームを囲むように人家があり万一の場合の協力をお願いしている。年2回の避難訓練、消火訓練を欠かさずやっていきたい。	年2回消防署立ち会いのもと、昼夜間想定避難訓練を行っている。母体医療機関の消防訓練・避難訓練にも参加している。地域住民に災害時の避難協力の依頼をし、地域との協力体制ができている。また、備蓄もある。	
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	そのように努めているが、たまには感情的なやり取りもある。ただ社会的常識の許容範囲内と思う。	日々のケアの中で、利用者の尊厳とプライバシーに配慮しながら、さりげないケアや言葉かけに努めている。排泄・入浴・更衣時のケアに細心の心配りに努めている。職員の採用時、個人情報保護についての誓約書をとっており、個人情報管理は適切である。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	認知の進行につれ希望の表出が少なくなっている。こちらより働きかけ日常に変化を起こすよう努めている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一日の流れがあるが、希望があれば、希望に沿って支援している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	本人が髪を切りたい、染めたいと希望されればそれに沿って支援している。三ヶ月毎に定期的に散髪をお願いしている。服装は好みの服を選んでもらっている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	野菜切りや皮むきなど出来ることをしてもらっている。片付けも自らお盆にのせてもらっている。日常会話の中で食べたいものを聞いたり、旬の野菜をメニューに入れている。	利用者と一緒に菜園で採った食材を使い、食事が楽しみなものになるよう工夫している。職員と利用者が一緒に食卓を囲み、さりげなく介助している。利用者個々の能力や気分によってできることをしてもらっている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	献立を立てたうえで料理をし、個々に合わせた食事量や食事形態の工夫を行い食事量水分量のチェックを毎日記録している		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	1日3回食後に口腔ケアを行っており、週に2回義歯の消毒を行っている		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	定時や個々の排泄パターンをみて、トイレ声かけ誘導を行っている	自尊心に配慮しながらトイレでの排泄を大切にしている。個々人の排泄のパターンをチェック表で職員が把握し、トイレの声かけや誘導を行い、トイレでの排泄の自立支援をしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	消化の悪い食材はさけ、個々に合わせた下剤を服用している		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	入浴は一日おきであるが、体調に合わせて入浴してもらっている。	週3回、個々人の希望に沿った入浴ができるよう支援している。入浴を拒む利用者に対しては職員間で連携し、入浴ができるように支援している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	食後の休息や体調に合わせて休んで頂いたり、夜は二時間おきに体交を行っている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬管理は全職員で行っているため、副作用・用法・用量についてもより一層の理解に努めたい。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている</p>	気分転換に外に出たり、買い物と一緒にいかれたり、台所の手伝いをしてもらっている。		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	庭で日光浴されたり、二週間に一回の病院受診では、たまにコースを変えたりして季節の移り変わりを感じてもらっている。	日常的には、一人ひとりの習慣や楽しみごとに合わせて、日光浴や買い物などを行っている。また、梅の花見物や梅ちぎり・ドライブなど、戸外に出かけられるように支援している。遠方への外出は家族の協力を得ながら支援している。	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	時々ヤクルトの支払いをお願いしているが、一括してホームでお小遣いとして預かっている。		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	家族より届く手紙を読み聞かせたり、希望があれば電話をかけ会話していただく。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>季節によって模様替えをしたり、自分たちで書いた絵を貼ったりして楽しまれている。</p>	<p>共用空間は、明るくて広く清潔感のある空間で、温かい家庭的雰囲気を感じている。壁には利用者の絵が飾ってある。玄関廊下もバリアフリーで安全面の配慮もされている。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>テレビの前に丸テーブルを置き近くでテレビを見て、楽しんだり、玄関前の長椅子では入居者さん同士の会話の場となっている。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>入居時在宅で使用していた、家具や雑貨を持ってきてもらうようにしている</p>	<p>ベットは備え付けであるが、身体状況に応じて畳を利用している。入居時に使い慣れた家具やテレビ・飾り物を持ち込んで、家庭にいるような居室作りで居心地よく過ごしている。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>自室が分かりやすいよう、飾りや名前の表記をしている。家具の配置は本人と職員とで決め、安全な位置に置いている。</p>		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		○	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30,31)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9,10,19)		1 ほぼ全ての家族と
		○	2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
		○	2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない